

学力向上に向けた取組

函館市立宇賀の浦中学校

1 課題

- 校内研修の充実をベースにした実践的指導力の向上
- T Tや選択を活用した指導体制の工夫・改善

2 課題解決の具体策

- 1 「自己評価表」等を取り入れた授業改善
- 2 授業評価の実施

3 取組の概要

1 について

○校内研修課題に「自己評価表」等の特性を生かした評価活動により、生徒の自己理解や教師の指導方法について研修を深め授業の工夫・改善に取り組んだ。その中で教科ごとにグループ化し、目指す子ども像の共有や、自己有用感を高めるための自己評価及び授業評価のための自己評価のあり方を実践を通して研修を深めた。

2 について

○本校において特に基礎・基本の習得を前提に系統的に学習する数学・英語は学力低位なものが多く、少人数指導とともに学習の遅れがちな生徒への個別指導を充実させ「わかる喜び」を実感し達成感や成就感を多く積み学習意欲の向上を図ることを目的に、個に応じた指導を中心としたT T授業や少人数体制を確立し、柔軟な学習形態を活用して学習意欲の喚起へのきめ細かい指導に取り組んだ。



○選択教科を活用し、数学、英語の「学校選択」の形態を取りながら、生徒理解に合わせながら、コース制の学習形態をとり、習熟度や個人の理解状況に応じたきめ細かい指導を少人数で行った。

○放課後や長期休業中の学習会を定期的で開催して、補充学習や学習習慣定着に向けて取り組んだ。

○1学期及び2学期に授業評価を実施し、日常実践を振り返ると共に、授業の改善・工夫に向けて取り組んだ。

4 成果と課題

○全国学力学習状況調査での質問紙による数学が好きや大切だというポイントがあり、学習への取り組みにも積極性が見られるようになった。

●意欲の面での向上は見られるが、学習習慣の定着や見通しをもった取り組みなど「自ら学ぶ」という姿勢がまだまだ身につけていないことが大きな課題である。